

コースID	コース名	内容	担当講師
2100	ビジネスIoT入門	ネットワークを介してあらゆるモノがつながることによって、生活が便利になるだけでなく、業務上の様々な面で最適化が図られるなど、多くの注目が集まっているIoT技術。しかし、その定義や実態を理解できていないビジネスパーソンは少なくないでしょう。本コースでは、前提知識を持たない初学者でもわかりやすいよう、Chapterごとに知識を定着させるための「クイズ」を設けながらIoT技術について解説します。現代社会の常識となっていくIoT技術について、しっかり学んでいきましょう。	高安 篤史
2350	クラウド入門	デジタルの活用やDXの推進を考えているビジネスパーソンを対象としたコースです。物理サーバーとの違いやクラウドの種類(SaaS、PaaS、IaaSなど)を押さえた後に、クラウドを導入する際のポイントや注意点を学びます。クラウドの主要なサービスや技術とそれらの特徴を理解し、DXの推進など実務に役立つ知識を得られている状態を目指します。	中島正成 (Nakashima Masanori)
2880	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	「業務自動化を進めたいが、何から着手すべきかわからない」と悩むビジネスパーソンにおすすめです。RPAの基本、何ができるのか、成功事例などを学びます。自らの業務における課題を洗い出し、その課題をRPAによってどう自動化するかをイメージできるようになるところまでを目指します。	佐々木伸明 (Nobuaki Sasaki)
2050	ビジネスパーソンのためのDX入門(ディテール版)	「DX推進を迫る世界的な社会構造の変化」「DXを阻む日本特有の社会構造」「DXとは何か」「DXを組織に展開する方法」を理解したいビジネスパーソン向けの入門コースです。DXを推進しなくてはならない理由を理解した上で、DX推進を阻む障害を認識し、デジタルネイティブな組織を目指すための考え方を理解している状態をコースのゴールにしています。	中山とことん
2080	ビジネスパーソンのためのDX入門(サマリー版)	「DX推進を迫る世界的な社会構造の変化」「DXを阻む日本特有の社会構造」「DXとは何か」を理解したいビジネスパーソンを対象とした『ビジネスパーソンのためのDX入門講座』のサマリー版です。DXを推進しなくてはならない理由を理解した上で、DX推進を阻む障害を認識し、デジタルネイティブな組織とは何かを理解している状態をコースのゴールにしています。 ※『ビジネスパーソンのためのDX入門講座(ディテール版)』から「DXを組織に展開するには」という大項目や他スライドを除いて制作しています。もっと詳細を知りたいという方はディテール版の受講をおすすめします。	中山とことん
2330	DX時代のデジタル技術と開発手法	DX推進の必要性は理解しているが、DXに関連するデジタル技術の理解が不足しているため、具体的にどのようにDXを進めてよいかかわからないビジネスパーソンを対象とした講座です。主要なデジタル技術(主にAI、IoT、クラウドの3つ)と情報システムの開発手法(アジャイル開発)を理解し、DX推進のために社内外の人を巻き込むための知識を得られている状態を目指します。	中島正成 (Nakashima Masanori)
2410	【アイデミー主催】利用者向けセミナー～市場価値が高まるDX人材への第一歩～	2021/9/29に実施されたアイデミー主催の利用者向けセミナー動画です。DXの必要性を知り、実際にAidemy Business Cloudのコースに取り組むことで学習スタートの第一歩を踏み出していただくことをテーマとしたセミナーになります。【内容】①DXの必要性、学習の意義の再確認、② Aidemy Business Cloudの「ビジネス統計学入門講座」の演習問題の一部を実施。【このセミナー視聴をお勧めする方】これからDX人材を目指して学習を始める初学者の方、DXに関してまず何から始めればよいか迷われている方。こちらのExcelファイルを使用しますので、あらかじめダウンロードしてお手元にご準備いただいたうえでご視聴いただくことをお勧めします。	アイデミー編集部
2412	【アイデミー主催】DXを加速させるためのたった1つのポイント	2022年4月19日に開催した「DXを加速させるためのたった1つのポイント」セミナーの動画です。	中山とことん
2560	解説:「DXレポート2.1」	2021年8月31日に経産省が公開した「DXレポート2.1」について、どのような内容が書かれているのか、DXレポート、DXレポート2との比較もあわせてわかりやすく解説します。	中山とことん
2770	10分でキャッチアップ_DXとは	今後の組織運営を考える上で、DXへの取り組みは避けて通れません。本コースではDXの定義から具体的な事例、現在の日本における課題などを10分にまとめて紹介します。	アイデミー編集部
2782	10分でキャッチアップ_DXが求められる背景	DXの重要性を理解するには、社会、顧客価値、競争環境がそれぞれどのように変化しているかを把握する必要があります。本コースではDXが重要視される背景について、10分にまとめて紹介します。	アイデミー編集部
2783	10分でキャッチアップ_DXに必要なマインド・スタンスとは	DXに必要なのは、技術や知識だけではありません。激しい社会変化のなかで新たな価値を生み出す土台となる考え方や姿勢(マインド・スタンス)について、10分にまとめて紹介します。	アイデミー編集部
2785	10分でキャッチアップ_DX推進に必要なスキルとは	「DX推進スキル標準」の内容を知らない、またはDX推進にあたって専門人材確保に課題感をもっている方に向けて、DXに必要な人材・スキルの考え方を10分にまとめてご紹介します。デジタルスキル標準「DX推進スキル標準」の概要・内容構成を理解することで、自社に必要なDX人材のイメージを描きましょう。	アイデミー編集部
2786	10分でキャッチアップ_データ・デジタル技術の活用方法・事例	経産省が策定した「DXリテラシー標準」で示されている「How データ・技術の利活用」のうち、とくに生成AIを取り上げて事例と活用方法を10分でご紹介します。あまり触れたことのない方も、具体例を知ることによって生成AIをはじめとする技術やツールをご自身の業務で活用できないか、考えるきっかけとしてみてください。	アイデミー編集部
2787	10分でキャッチアップ_DXで活用されるデータとは	DXに必要な知識であるデータについて、10分にまとめてご紹介します。データの重要性、DXとの関係性、データ活用のポイント、効果的なデータ活用の方法などを分かりやすく解説しています。	アイデミー編集部
2788	10分でキャッチアップ_サイバーセキュリティとは	年々高まる身近なサイバーセキュリティリスクについて、10分にまとめてご紹介します。セキュリティの基本的な仕組みと個人がとるべき対策について理解を深めましょう。	アイデミー編集部
2789	10分でキャッチアップ_ネットワークとは	インターネットなどを利用する際の基礎知識として、ネットワーク・インターネットの仕組みを10分でご紹介します。また、モノのインターネットと呼ばれるIoTについても具体例を交えて解説しています。	アイデミー編集部
2791	10分でキャッチアップ_コンピュータとは	コンピュータとは何かを10分にまとめてご紹介します。「最初のコンピュータ」はどんなものだった？ 内側はどうなっている？ 炊飯器にも搭載されているの？ といったところから細かく、コンピュータがどんなところで、どのような役割を果たしているかイメージできるようになることを目指します。	アイデミー編集部
2792	10分でキャッチアップ_ソフトウェアとは	実は多くの人が日々恩恵を受けているけれどよくわからない「ソフトウェア」について、10分で解説します。ハードウェアとの違いや、コンピュータのなかでの役割、パソコン以外で使われているソフトウェアについても紹介。受講後はソフトウェアを少し身近に感じられるようになるはずです。	アイデミー編集部

2793	10分でキャッチアップ_クラウドとは	クラウドとは何かを10分にまとめてご紹介します。クラウドのメリットと実際の活用例を解説し、ビジネスにおけるクラウド活用の理解を深めます。クラウドがわからない方も迅速にキャッチアップできる内容です。	アイデミー編集部
2820	DXリテラシー:マインド・スタンス ~ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは?~	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。本コースでは、「マインド・スタンス」に示される7つの要素について紹介します。	アイデミー編集部
2821	DXリテラシー:Why ~DXの求められる背景~	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。本コースでは、「Why」(DXの背景)を理解するため、「社会」「顧客価値」「競争環境」における3つの変化を紹介します。	中山とこてん
2822	DXリテラシー:How ~データ・デジタル技術の活用事例と利用方法~	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。本コースでは、「How」(データ・技術の利活用)の理解を深めるため、「活用事例・利用方法」について紹介します。	古宮 浩行(Hiroyuki Komiya)
2830	DXリテラシー:What(DXで活用されるデータ・技術)データ	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。本コースでは、「What」(DXで活用されるデータ・技術)の理解を深めるため、「データ」を取り扱うための知識を紹介します。	岩澤 智之(Iwasawa Tomoyuki)
2841	DXリテラシー:What(DXで活用されるデータ・技術)デジタル技術	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。本コースでは、「What」(DXで活用されるデータ・技術)の理解を深めるため、「デジタル技術」「AI」「クラウド」「ハードウェア・ソフトウェア」「ネットワーク」を取り扱います。	坂本 真樹(Maki Sakamoto)
2860	DXリテラシー:How(データ・技術の活用)留意点	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。本コースでは、「How」(データ・技術の活用)の理解を深めるため、DX推進における留意点について紹介します。	山下 大介(Daisuke Yamashita)
2090	製造業のAI活用(導入事例)	本講座では、人材不足やものづくりのサービス化対応といった課題を抱える製造業界の課題解決に焦点を当て、その一つの手段として注目と期待を集めているAI活用の取り組みについて、導入事例を示しながらわかりやすく解説していきます。また、各Chapterごとにクイズを設けることで、全体を通じた知識定着ができるようになっていますので、業界の現状、課題、今後の取り組みについてしっかりと理解していきましょう。	水野 亮
2140	ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門	「データサイエンス」や「データサイエンティスト」という言葉に興味があるビジネスパーソンを対象とした入門講座です。データサイエンスとは何か? データ分析でできること、データサイエンティストに求められるスキル、データ分析プロジェクトの進め方について、初心者にもわかりやすく解説しています。「データサイエンス」は全く新しいことではなく、多くの方は既にビジネスの中で触れています。ツールを使うことだけがデータ分析ではなく、ビジネスの成果が得られるデータ分析を行う必要があります。本講座で、ぜひその視点を身につけてください。	岩澤智之(コンテンツ制作協力:瀬戸山雅人)
2210	ビジネスパーソンのためのAI入門	AI初学者向けのコースです。人工知能(AI)とは何か、何ができて何ができないのか、どのように活用されているのか、を理解することができます。ご自身の業務改善提案の解決策として、選択肢の1つにさせていただくことがゴールです。	遠藤 太郎(Endo Taichiro)
2700	10分でキャッチアップ_AIにできること	DX推進に貢献する技術として注目されるAI。本コースではAIの定義からAIの仕組み、現在のAIにできることを10分にまとめて紹介します。	アイデミー編集部
2784	10分でキャッチアップ_機械学習とは	機械学習の仕組みを10分にまとめてご紹介します。機械学習を初めて学ぶ人が、機械学習の基本的な仕組みを把握し、活用シーンをイメージできるようにすることを目指します。	アイデミー編集部
2794	10分でキャッチアップ_Pythonとは	汎用性の高いプログラミング言語として知られるPythonについて、10分にまとめてご紹介します。Pythonの歴史や特徴、応用範囲や今後の展望について理解を深めましょう。	アイデミー編集部
2795	10分でキャッチアップ_Jetsonとは	AIを動かすためにはどのようなコンピュータが使われているのでしょうか。本コースでは、機械学習の「推論」のフェーズで企業から個人まで幅広く活用されている、NVIDIAが提供する小型で高性能なコンピュータ「Jetson」について10分にまとめて紹介します。	アイデミー編集部
2796	10分でキャッチアップ_生成AIとは	ChatGPTのリリースを皮切りに、さまざまなサービスや活用方法が生まれ続けている生成AI。このコースでは、生成AIとは何か、生成AIの課題、生成AI市場の動向について10分にまとめてご紹介します。	アイデミー編集部
9200	はじめてのAI	人工知能、AI、機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニング...これらの言葉が世間ではよく聞かれるようになってきました。よく聞く言葉だけれども、よくわからない、自分の身近なものではなさそうと思っている方も多いのではないのでしょうか。本コースでは、AIに関わる基本知識だけでなく、事例や具体的にそれがどのような仕組みで動いているかも紹介します。AIの基礎を理解し、AIをどう活用できるかのヒントがつかめるように、本コースで学びます。	Grow with Google
2030	投資対効果を最大化するAI導入	機械学習を使ったビジネス立ち上げに関心のある管理職の方やテクノロジーを使った新規事業構築を担当する企画職の方向けのコースです。機械学習の企画づくりの勘所を理解し、データやAIが絡む企画のたたき台を作り込むことができる状態をコースのゴールにしています。	アイデミー編集部
2142	事業戦略におけるデータ・AI活用	新たなビジネスモデルの構築に向けて、データ・AIの戦略的活用について解説します。データと事業成長の密接な関係を理解し、戦略策定におけるデータ・AI活用の勘所をつかむことをゴールとしています。	岩澤 智之(Iwasawa Tomoyuki)

2160	AIプロジェクトを成功させる上流工程のツボ	AIプロジェクトの上流工程である「機械学習の適用領域の選択」と「業務データの入手・確認」では、AIプロジェクト固有の考慮点が数多くあり、これらの点をクリアにできるかどうかプロジェクトの成否を分ける大きなポイントです。本講座でぜひ「AIプロジェクトを成功させる上流工程のツボ」を押さえ、皆さんのプロジェクト成功に役立ててください。	赤石 雅典(Akaishi Masanori)
2280	AIビジネスの法律入門	本講座では、AIビジネスにどのような法律が関わることになるのかと、近年議論が高まりつつあるAI倫理に関して、AIの開発・運用プロセスに沿って、その全体像を明らかにします。また、AI開発契約について注意すべき点と、AI開発に関するどのような紛争が起こるのかをイメージしてもらうために、模擬裁判の事例を取り上げて解説します。あなたも本講座を受講して、AIビジネスに関係する法律についての見取り図を押さえましょう！	後藤 大 (Dai Goto)
2370	協創DX推進論	DXの導入と推進を急務とされている多くの日本企業が抱える様々な課題に対し、DXの定義からその推進を阻む壁、そして目指すべき姿に至るまで、組織変革と人材育成の双方に着眼しながら、DX推進に向けた数々のヒントをわかりやすく解説します。	浦川伸一
2550	事例で学ぶ！DX事業立案	本コースは、DXを前提とした事業を立案するための研修である「DX事業立案ワークショップ」の講義部分を動画にしたものです。新規DX事業の企画構想を担当している方向けに、事業立案のポイントを豊富な事例の解説を踏まえながら実践形式で学んでいただけます。	登坂直矢
2650	非IT企業におけるIT人材の直接雇用の本格化	非IT企業がIT人材を直接雇用する動きが加速しています。この背景やIT人材を直接雇用する場合の課題などについて解説します。	中山とことん
2790	プロが伝える！新規事業の心構え	新規事業を作りたいけど「アイデアがない」「何から始めればいい？」「どう進める？」そんな悩みを持つかたに、年齢の数だけ新規事業を立ち上げてきた守屋実さんが、新規事業を成功させる心構えを伝授します。主体的に働きキャリアをよりよいものにしていきたいと考えるビジネスパーソン全般にも役立つレクチャーです。	守屋 実(Minoru Moriya)
2900	事例で学ぶ！衰退産業のビジネスモデル変革	あらゆる産業で起きている市場変化に対し、ビジネスモデル変革が急速に求められています。衰退産業におけるビジネスモデル変革の成功・失敗事例を通じて、なぜデジタルによるビジネスモデル変革が必要なのかを理解しましょう。本コースを通じて、自社およびご自身の業務の方向性を振り返ってみてはいかがでしょうか。	坂本 圭司(Keiji Sakamoto)
2901	事例で学ぶ！DX事業立案：最新事例集(2023年版)	DX事業における最新事例を集め、データ・デジタル活用の観点で7つの要素にわけて紹介します。多くの新しい事例とその要点を理解することができます。DX事業の立案方法について実践形式で解説したコンテンツ「事例で学ぶ！DX事業立案」の事例紹介部分のアップデート版としてご活用ください。 ※本コースは「事例で学ぶ！DX事業立案」の追加コンテンツです。単独でも受講いただけますが、DX事業立案の全体像をつかむため、「事例で学ぶ！DX事業立案」を事前に受講することをおすすめします。	登坂直矢
2902	ビジネスを成功に導く：ポートフォリオマネジメントとスタートアップエコシステム構築	経営環境の変化により重要度の高まる新規事業開発において、ポートフォリオマネジメントの考え方や進め方を解説します。また、オープンイノベーションにおいて、スタートアップエコシステムがどのような役割を果たし、自社においてどのように構築・活用すれば良いか紹介します。	小森 拓郎(Takuro Komori)
2906	変革マネジメント ～ミドルアップで”壁”を越える～	DXの取り組みに対し、期待する成果をあまり実感できていないとすれば、それは企業内にさまざまな組織に共通する「壁」が立ちはだかっているのかもしれないかもしれません。本コースでは、企業変革が進まない要因として、意識、組織、経営の3つの障壁を取り上げ、典型的な症状や構造、それらの「壁」を乗り越えるための各種アプローチをご紹介します。	島野 陽介(Yosuke Shimano)
2907	複雑さに対応するためのシステムズエンジニアリング概論	多くの利害関係者と関わる事業・製品・サービス・システムの開発を担当するビジネスパーソン・エンジニアを対象にシステムズエンジニアリングの概要を解説します。システムズエンジニアリングの有用性を理解し、複雑なサービスやプロダクトをもシステムととらえ全体最適を実現するイメージをもつことをゴールとしています。	内田 功志(Isashi Uchida)
2909	未知の課題に立ち向かう：課題設定力向上のすすめ	DXプロジェクトの成功には、ビジネス課題を見抜く鋭い洞察力が必要です。思い描く理想に到達するために、視座、視野、視点の観点から広範な事象を俯瞰し、本質的な課題を見極める力が求められています。本コースを通じて、未知の課題に立ち向かうために必要な概念を習得しましょう。	藤山 紗希(Saki Fujiyama)
2911	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	「良い調査」の条件はなんだと思いますか？ 本コースでは、ビジネス調査の基本を学びます。調査設計、PEST、3C、5Forcesといったフレームワークの使い方などを解説し、テクノロジーを活かした調査手法もご紹介します。手順や情報を集める際のポイントを理解し、自信を持って調査を実施できるようになることを目指します。	岩澤 智之(Iwasawa Tomoyuki)
2912	ビジネス変革に求められるプロダクトマネジメント	プロダクトライフサイクルの短命化や社会・環境変化の不透明さが増す中、プロダクトマネジメントの重要性が増しています。不確実性の高い新規事業開発やVUCAへの対応には、製品・サービスを中心とした「小さく」「速く」「適切に」動く組織活動が必要です。これがすなわちプロダクトマネジメントです。プロダクトマネジメントの役割や有効性を理解し、価値ある製品・サービスを生むためのアプローチについて学びましょう。	小森 拓郎(Takuro Komori)
2913	隠れたニーズを掘り起こす！ソリューション提案のための要件定義	本コースでは、営業担当者として顧客の課題を解決するソリューション提案を行うための基本を学びます。顧客へのヒアリングを通じて「ウォンツ」の背景にある本質的な「ニーズ」をつかみ、求められるソリューションの仮説を作り、検証し、提案資料に落とし込むまでの一連の流れを身につけることを目指します。	藤山 紗希(Saki Fujiyama)
2914	エンタープライズアーキテクチャ：全体最適で事業を再構築する	新規・既存事業担当者、社内システム・データの管理者を対象に、エンタープライズアーキテクチャの概要を解説します。ビジネス・データ・アプリケーション・テクノロジーの4つの観点から組織を俯瞰し、全体最適化するイメージをもつことをゴールとしています。	山本 政樹(Masaki Yamamoto)
2915	システム開発における業務要件定義の勘どころ	プロジェクトの成功に不可欠な要件定義のやり方を学びます。要件収集、分析、文書化の方法を習得し、効率的で効果的なシステム設計の基盤を築けます。	坂本 圭司(Keiji Sakamoto)
6510	オープンイノベーション実践のためのAIリテラシー	【英語版コース有り】電通・BASE Qによるオープンイノベーション実践のためのAIリテラシーコースです。 新規事業開発においてAIを活かすためのAIについての知識を動画で解説します。	片山 智弘(Katayama Tomohiro)
7200	マスクド・アナライズの「AIビジネス活用を考える」	【英語版コース有り】マスク姿の謎の「イキリデータサイエンティスト」が、AIをビジネスに活用する時に考えたいことや、導入後の注意点などを紹介します。このコースを学べば、なぜAIが業務システムなど従来の企業ITと同じように考えてはいけないか、理解できるでしょう。	マスクド・アナライズ

2200	AIプロジェクトマネジメント	AIプロジェクトをマネジメントする立場の方向けのコースです。一般的なプロジェクトマネジメントについて理解している方を対象としています。通常のシステム開発プロジェクトとAIプロジェクトの相違点を理解し、AIプロジェクトを計画・推進していくための基礎知識を身に付けることができます。	梶原 康範 (Yasunori Kajiwara)
2220	DX時代のアジャイル適用術	この講座では、DX時代に必要とされる「アジャイル思考」について、ツールや方法論を見ながら理解を深めていきましょう。まずはソフトウェア開発領域におけるアジャイルを知り、ビジネスと結合したアジャイルを組織に適用する術について、具体例を交えながら詳しく解説していきます。	アイデミー編集部
2760	プロジェクトマネジメント入門	プロジェクトマネジメントを初めて学ぶ方、業務でプロジェクト管理をされる方を対象にした入門コースです。プロジェクト成功のために気を配るべき8つの領域である「プロジェクト・パフォーマンス領域」について学ぶことで、プロジェクトマネジメントの全体像を把握し、土台となるマインドセットを身に付けます。	石橋 和也(Kazuya Ishibashi)
2905	ビジネスアナリシス概論:エンタープライズ変革に求められる力	ビジネスアナリシスとは、事業戦略や経営計画をはじめ、ビジネスの現場で起きるさまざまな課題を分析し、その解決策を明確にしたうえで、社内外の力も借りながら組織変革を実現する活動です。あらゆる企業変革において求められる考え方であるため、近年注目を集めています。本コースでは、ビジネスアナリシスの根幹である要求を明確にする流れをご紹介します。	山本 政樹(Masaki Yamamoto)
2670	デザインシンキング概要編 with アドビ	デザインシンキング(デザイン思考)の基本がわかる導入コースです。誕生の背景、デザインシンキングのプロセス、行政や民間企業での活用事例、などを通じてデザインシンキングの全体像を掴んでいただきます。「デザインシンキングってなに?」「どう役立つの?」と気になっている方は、ぜひご視聴ください。	大野 真以子(Maiko Ono)
2680	デザインシンキング実践編 with アドビ	デザインシンキング(デザイン思考)を実際に落とし込むための実践コースです。共感、定義、発想、試作、実験の5つのステップを解説するとともに、『Aidemy Business』のUX改善にデザインシンキングでアプローチした3カ月のプロジェクトをドキュメンタリー形式でご紹介。自身の業務に応用するためのイメージをつかんでください。	大野 真以子(Maiko Ono)
2903	UXデザイン概論 ~ユーザー中心設計を理解する~	顧客の満足度や利用継続性を向上し、競争優位性を築くのに貢献するUXデザインは、製品やサービスが成功するために極めて重要な観点です。概論編の本コースでは、サービスを企画し、設計・実装に携わる方を対象に、なぜユーザー中心の考え方が必要なのか解説します。UXの基本的な考え方を理解することを目指します	坂本 圭司(Keiji Sakamoto)
2904	UXデザイン実践 ~プロトタイプ作成~	顧客の満足度や利用継続性を向上し、競争優位性を築くのに貢献するUXデザインは、製品やサービスが成功するために極めて重要な観点です。実践編の本コースでは、サービスを企画し、設計・実装に携わる方を対象に、プロトタイプ作成の要点を解説します。市場調査から顧客・ユーザーの本質的なニーズを導き出し、プロトタイプを設計する手法を学びましょう。	坂本 圭司(Keiji Sakamoto)
2681	ビジネス変革を起こすためのマーケティング入門	DXを通じたビジネス変革には、市場の変化・顧客のニーズを理解し、組織が顧客に価値を届ける仕組みを作る力が必須です。本コースでは、PEST分析、5Forces分析、STP分析といった基本フレームワークと、SNS運用、SEO対策、生成AIの活用といったデジタルマーケティング手法を学び、マーケティング思考力を身につけます。	黒澤 友貴(Tomoki Kurosawa)
2682	ビジネス変革を起こすためのブランディング入門	ブランディングについて基本から学びたい人のためのコースです。ブランディングが求められる背景、ブランド体系、ミッション・ビジョン・バリューといったポイントを事例とともに理解し、要件整理から社内外に浸透させるまでをステップごとに見ていきます。最後に自分自身をブランディングする演習で実践力を身につけます。	松井 寛志(Hiroshi Matsui)
6500	AI marketer 育成コース	【英語版コース有り】電通デジタル所属の専門家が教える、「AIをマーケティングに活用するノウハウ」がわかる入門コースです。 このコースを通じて、マーケティング業務とAIができることを具体的に関連付けて情報を整理し、「AI marketer」へとステップアップするための知識を身につけられます。 事例を交えながら進む本コースを履修して、マーケティング業務をAIで進化させていきましょう。	萩原 伸悟 (Hagiwara Shingo)
2555	事例で学ぶ! デジタル業務改善	「生産性を高める」とよく言われますが、具体的に何から始めればよいのでしょうか。本コースでは、業務効率アップの基本の考え方から業務フローの改善企画の方法までを解説します。加えて、12の事例と詳しいツール活用例も紹介します。解説を参考に自身の業務改善を企画し、生産性向上の第一歩を踏み出しましょう。	田中 武士(Takeshi Tanaka)
2660	今日から実践! ロジカルシンキング入門	日々の業務をより円滑に進めたいビジネスパーソンを対象に、「ゴールとその道筋を整理する」ロジカルシンキング(論理的思考法)の基本概念、実践方法を紹介します。個人での業務、上司とのコミュニケーション、チームでの活動、顧客提案や他社との協業など、あらゆるシーンで活用いただけます。	アイデミー編集部
2740	データインプット統一ルールの勧め	DXにおいて、データ利活用は欠かせないテーマです。利活用のためには、機械判読可能な構造化されたデータである必要があります。本コースでは、総務省が示す「統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール」に基づき、データ作成時の留意点について解説します。データインプットにおける統一ルールの重要性を学びましょう。	四禮 静子(Shizuko Shirei)
9210	はじめての働き方改革	働き方改革の進め方に不安を持つ方だけでなく、働くすべての方にとって、「働く」をもっと良いものにする方法を学びます。Google をはじめとするさまざまな企業の実証研究の知見とそこから生まれたツールをご紹介します。新しい働き方の導入方法をご紹介します。	Grow with Google
2580	Power BI基礎編 データ可視化と活用概論	BI(ビジネスインテリジェンス)とは、社内にある大量のデータを統合・可視化し、経営や営業などあらゆる企業内活動でスピーディな意思決定を促進するためのツールです。全社的にBIツールを使いこなすことにより、データを元にした意思決定を社内文化として根付かせることができ、全社的なDXを加速させることが可能となります。本コースでは、Microsoft Power BIを具体例として、データ可視化に必要な基本的な考え方と手順について解説します。	坂本 圭司(Keiji Sakamoto)
2610	Power BI実践編 データ可視化と活用の実践	本コースでは、Microsoft Power BIによるデータ可視化の具体的な方法や手順について、画面操作を交えながら詳細に紹介します。Excelの業務データをインプットとして、データを処理、ビジュアル化、社内共有するまでに必要な一連の流れと操作方法をステップを追って解説していきます。これにより、業務で活用できるレポート実装が可能となり、組織内でデータドリブンな意思決定を実現するための必須スキルを習得できます。	坂本 圭司(Keiji Sakamoto)
2630	これだけはおさえたいWord基礎	Wordでビジネス文書を作成する際、「素早く」「見やすく」を心掛けることが重要です。箇条書きや図の設定、繰り返し使う形式のテンプレート化、変更履歴といった機能を正しく活用することで、日々の文書作成が効率的になります。本コースでは、Wordを使用するうえで意識しなければならない考え方と基本操作をご紹介します。	四禮 静子(Shizuko Shirei)

2640	これだけはおさえないExcel基礎	Excelでデータを加工、集計、分析するには、データベースとなる明細のリスト表をきちんと作成する必要があります。ミスがなく入力しやすい表を作成すること、そして求める集計表を素早く作成できることが効率化につながります。本コースでは、Excelを使用するうえで意識しなければならない考え方と基本操作をご紹介します。	四禮 静子(Shizuko Shirei)
2750	定型業務を自動化しよう！実践編 Power Automate for desktop入門	Power Automate for desktopを活用してPC作業を自動化するための入門コースです。基本操作を学んだ後、実践演習として、「Webサイトにログインし、得意先リストから会社詳細ページにアクセスし、ページを印刷する」という自動化フローの構築に挑戦します。ご自身の業務自動化を進める第一歩を踏み出してください。	佐々木伸明 (Nobuaki Sasaki)
9120	DX実践のためのローコード開発 Claris FileMaker 基礎編	本コースでは、組織における変革の必要性を感じている方を対象に、ローコードツール Claris FileMaker を活用したデジタルトランスフォーメーションのプロセスを解説します。「顧客の声に耳を傾ける」をテーマに、変革のプロセス、プロトタイプ作成、重視すべき視点、をトータルで学び、データ可視化とデータ活用を実現する実践的な内容です。	河村将博(Masahiro Kawamura)
9130	DX実践のためのローコード開発 Claris FileMaker 発展編	組織変革の必要性を感じている方を対象に、ローコードツール Claris FileMaker を活用したデジタルトランスフォーメーションのプロセスを解説。さらに、自動化ワークフローを作成する Claris Connect を用いて、フォーム作成サービスやSMS送信サービスとの連携を図り、お客様の内なる声の可視化とともに、組織の成熟を目指します。	河村将博(Masahiro Kawamura)
2250	プログラミング超入門	プログラミング言語って何をやるの？ たくさんある言語は何が違うの？ 知りたいけど意外と誰も教えてくれない「プログラミング入門以前」の超入門講座です。ここで初歩の初歩からきちんと学び、プログラミングってどんなものか実際に体験しましょう。	掌田津耶乃(しょうだつやの)
2600	Google Colaboratory入門	本コースはGoogle Colaboratoryを用いてPythonプログラミングを行うための環境準備をはじめ、起動、使用、ファイル管理の基本操作について解説します。初めてGoogle Colaboratoryを使う方におすすめの内容です。	遠藤祥子(Yoshiko ENDO)
3012	はじめてのPython	プログラミング言語「Python」の基礎について学びます。Pythonは、機械学習やWEBアプリケーションなど多くの用途で使用されているプログラミング言語です。 また、図を多く用いて解説を行っておりますので、プログラミングを初めて学ばれる方でも直感的にわかりやすい内容となっております。 ぜひ、プログラミングの楽しさ、Pythonの素晴らしさを体感し、いち早くエンジニアとしてスタートを切りましょう。	アイデミー編集部
3013	Python基礎	プログラミング言語「Python」における、複数の値を持つ型、for文、関数、クラスなどについて学習し、はじめてのPythonより発展的な知識を身につけられます。 また、図を多く用いて解説を行っておりますので、躓きやすいクラスや関数がわかりやすい内容となっております。 ぜひ、プログラミングの楽しさ、Pythonの素晴らしさを体感しましょう。	アイデミー編集部
3060	初学者向けのオブジェクト指向プログラミング	このコースでは、オブジェクト指向プログラミングの基本的な考え方とPythonを使ったオブジェクト指向プログラミングの具体的なやり方を紹介します。 オブジェクト指向プログラミングの考え方を習得することで複雑なプログラムをわかりやすく整理し変更が楽で安全になる設計ができるようになります。 プログラミングの基礎的な部分を理解した上で、オブジェクト指向の考え方について学びたい方やこれまでオブジェクト指向によるシステム開発の経験がない方を対象としています。	増田 亨 (Toru Masuda)
4002	ライブラリ「NumPy」基礎(数値計算)	「Python」で大量のデータを扱う際に利用されるライブラリ「NumPy(ナンパイ)」の基礎を学びます。「NumPy」を用いることで、効率的な科学技術計算が可能になり、機械学習分野に必須のライブラリです。	アイデミー編集部
4004	【新】ライブラリ「NumPy」基礎(数値計算)	Pythonで配列を素早く処理し、短くコードを書けるライブラリNumPyについて解説します。配列の概要から配列を用いた統計解析、データの前処理まで幅広く学びます。	アイデミー編集部
4010	ライブラリ「Pandas」基礎(表計算)	「Python」のデータ分析用ライブラリ「Pandas(パンドス)」の基礎を学びます。「Pandas」を用いることで数表や時系列データの計算が楽になり、定量データ解析には必須のライブラリです。	アイデミー編集部
4014	【新】ライブラリ「Pandas」基礎(表計算)	『ライブラリ「Pandas」基礎(表計算)』コースのリニューアルコースです。「Python」のデータ分析用ライブラリ「pandas(パンドス)」の基礎を学びます。「pandas」を用いると数表や時系列データの計算が楽になり、よりデータ分析の基礎を学べます。外部データの読み込み方から、データのファイル保存、複数のDataFrameの扱い方まで幅広く学べます。	アイデミー編集部
4040	ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化)	データ可視化コースでは、matplotlibを用いてデータを可視化する方法を学びます。折れ線グラフ、円グラフ、ヒストグラム等の作成から、3Dグラフを作成する方法まで学びます。	アイデミー編集部
4044	【新】ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化)	Pythonでデータの可視化に用いられるライブラリMatplotlibの使い方を学びます。棒グラフ、ヒストグラム、折れ線グラフ、ヒートマップ、散布図など、さまざまな形でデータをわかりやすく表現できるようになり、意思決定や戦略策定に役立てられます。Matplotlibを学んでPythonにおけるデータ分析の第一歩を踏み出しましょう。	アイデミー編集部
4200	プログラミングスピードアップ エラーの対処方法 Python基礎文法編	プログラムがかけてもうまく実行できない、どう修正したらいいかわからない…そんな悩める駆け出しエンジニアのためのコースです。Pythonの基本的な文法におけるエラーの対処法を学びます。対処法を学んでプログラミングのスピードを上げましょう。	アイデミー編集部
1030	Flask入門	アプリケーションソフトを開発する際に必要とされる機能をまとめて整えてくれる枠組み・ひな形を簡単に構築できるパッケージのことをフレームワークと言います。PythonのためのウェブアプリケーションフレームワークであるFlaskについて理解しましょう。 ※事前にFlask入門のためのHTML&CSSの受講してください。	アイデミー編集部
2170	PythonによるExcelの自動化	PythonでExcel業務を効率化する方法について学びます。PythonでExcelを操作する基本について学んだ後、演習を通じてExcel上のデータ集計作業や、Excelの編集を自動化します。 ※本講座では統合開発環境としてPyCharmを利用した解説を行います。Aidemy上の環境でPythonのプログラム演習を行うため、インストールや統合開発環境の準備といった作業は必須ではありません。	北野 勝久 (Katsuhisa Kitano)

3030	Pythonで簡単！数学の謎解き(初級)	<p>データサイエンスや機械学習など新しい技術がPythonで実装される理由に、Pythonと数学との親和性が大きいことがあげられます。Pythonでは、数学を駆使した高度なシステムが凝縮されたライブラリを容易に使うことができます。データを高速処理するNumPy、代数演算のためのSymPy、機械学習のためのTensorFlow(テンソル・フロー)などです。これらを使ったり理解するためにも数学的素養が必須です。</p> <p>コードの読みやすさとシンプル性はPythonの特徴ですが、このおかげでPythonの数学コードは初心者にやさしくデザインされています。中学・高校数学が心配な人にとってはPythonを通して数学を学び直すことができます。教科書の数学はやらされている感満載でした。Pythonによる数学は、キーボードからの入力に対してPythonが即座に反応してくれる面白さがあります。数学を使いこなす感覚を実感できます。Pythonは新しい数学教科書といえます。</p> <p>本コースでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pythonの数学コードを学ぶ ・中学・高校数学をPythonを通して学び直す ・四則演算から行列までの数学を広く浅く一通りマスターする ・数学に興味関心を持ってもらう <p>といったことを目標にしています。</p> <p>(初級)四則演算・整数と小数・素数・分数・方程式</p> <p>組み込み関数以外にdecimalモジュール、sympyモジュール、fractionモジュールを使います。</p> <p>(中級)三角関数・指数関数と対数関数・順列・組合せ・集合・確率</p> <p>(上級)微分・積分・数列・ベクトル・行列</p> <p>あなたも本講座を受講して、Python&数学の世界に足を踏み入れましょう！</p>	桜井 進 (Susumu Sakurai)
3040	Pythonで簡単！数学の謎解き(中級)	<p>データサイエンスや機械学習など新しい技術がPythonで実装される理由に、Pythonと数学との親和性が大きいことがあげられます。Pythonでは、数学を駆使した高度なシステムが凝縮されたライブラリを容易に使うことができます。データを高速処理するNumPy、代数演算のためのSymPy、機械学習のためのTensorFlow(テンソル・フロー)などです。これらを使ったり理解するためにも数学的素養が必須です。</p> <p>コードの読みやすさとシンプル性はPythonの特徴ですが、このおかげでPythonの数学コードは初心者にやさしくデザインされています。中学・高校数学が心配な人にとってはPythonを通して数学を学び直すことができます。教科書の数学はやらされている感満載でした。Pythonによる数学は、キーボードからの入力に対してPythonが即座に反応してくれる面白さがあります。数学を使いこなす感覚を実感できます。Pythonは新しい数学教科書といえます。</p> <p>本コースでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pythonの数学コードを学ぶ ・中学・高校数学をPythonを通して学び直す ・四則演算から行列までの数学を広く浅く一通りマスターする ・数学に興味関心を持ってもらう <p>といったことを目標にしています。</p> <p>(初級)四則演算・整数と小数・素数・分数・方程式</p> <p>(中級)三角関数・指数関数と対数関数・順列・組合せ・集合・確率</p> <p>Python標準ライブラリ、numpyモジュール、sympyモジュール、fractionモジュールを使います。</p> <p>(上級)微分・積分・数列・ベクトル・行列</p> <p>あなたも本講座を受講して、Python&数学の世界に足を踏み入れましょう！</p>	桜井 進 (Susumu Sakurai)
3050	Pythonで簡単！数学の謎解き(上級)	<p>データサイエンスや機械学習など新しい技術がPythonで実装される理由に、Pythonと数学との親和性が大きいことがあげられます。Pythonでは、数学を駆使した高度なシステムが凝縮されたライブラリを容易に使うことができます。データを高速処理するNumPy、代数演算のためのSymPy、機械学習のためのTensorFlow(テンソル・フロー)などです。これらを使ったり理解するためにも数学的素養が必須です。</p> <p>コードの読みやすさとシンプル性はPythonの特徴ですが、このおかげでPythonの数学コードは初心者にやさしくデザインされています。中学・高校数学が心配な人にとってはPythonを通して数学を学び直すことができます。教科書の数学はやらされている感満載でした。Pythonによる数学は、キーボードからの入力に対してPythonが即座に反応してくれる面白さがあります。数学を使いこなす感覚を実感できます。Pythonは新しい数学教科書といえます。</p> <p>本コースでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pythonの数学コードを学ぶ ・中学・高校数学をPythonを通して学び直す ・四則演算から行列までの数学を広く浅く一通りマスターする ・数学に興味関心を持ってもらう <p>といったことを目標にしています。</p> <p>(初級)四則演算・整数と小数・素数・分数・方程式</p> <p>(中級)三角関数・指数関数と対数関数・順列・組合せ・集合・確率</p> <p>(上級)微分・積分・数列・ベクトル・行列</p> <p>SymPyモジュール、NumPyモジュールを使います。</p> <p>あなたも本講座を受講して、Python&数学の世界に足を踏み入れましょう！</p>	桜井 進 (Susumu Sakurai)

4070	スクレイピング入門	webページから必要な情報を自動で抜き出す作業を、スクレイピングと言います。このコンテンツでは主にBeautifulSoupを用いたスクレイピングの手法を紹介します。	アイデミー編集部
4080	データハンドリング	テキストデータの整形やテキストファイルの入出力方法を学びます。テキストファイル以外にも様々な形式のデータをpandasライブラリを用いてpythonで扱う手法を学習します。Python, Keras, Tensorflowで用いられるデータ形式について、実際にコードを記述しながら学んでいただきます。	アイデミー編集部
9060	製造業におけるシミュレーション実践	本コースでは、主に製造業における話題を中心として、シミュレーションとはどのような手法なのか、また、その有用性を、NTTデータ数理システムが開発・販売している汎用シミュレーションシステムS4 Simulation Systemを使った実習を通してご紹介していきます。シミュレーションを業務に役立てたい方から、シミュレーションってそもそも何？という方まで、多くの皆様の受講をお待ちしております。 ※本コースでは、お手元のパソコンにS4 Simulation Systemをインストールしてから受講することをおすすめしております。インストールされる際は、事前に申し込みが必要となります。詳しくは「1.1.2 受講前の準備」をご覧ください。	嶋田 佳明 (Yoshiaki Shimada)
2150	データベース入門	本講座では、「データベースとは」から始まり、データベースの基本的な知識についてご紹介していきます。データベースは、アプリケーションや最近ではAIなど、ITに携わる多くのものに関わっており、必要な知識です。あなたも本講座を受講して、データベースの基本的な知識を身につけていきましょう！	ひろにも
4100	SQL基礎	このコースではSQLの基礎を学びます。データベースからの読み出し、データベースへの書き込み等の基礎的なSQL文法を、実際に記述し、実行しながら身につけていきます。	刀根 諒 (TONE Makoto)
4110	SQL標準	このコースでは、SQLにおける標準的な知識を学びます。より複雑なクエリや集計関数などについて、実際に記述し、実行しながら身につけていきます。	アイデミー編集部
1020	Flask入門のためのHTML&CSS	Flask入門に必要な環境構築を行います。またFlask入門に用いられるHTMLとCSSを解説しています。	アイデミー編集部
2800	Excel VBA基礎(前編)	VBA基礎レベルを習得することを目的としたコースです。前編・後編を受講することで、マクロの記録で日常業務を自動化できる、VBAでマクロを編集できる、またVBAの基本文法を理解してExcelの基本的なオブジェクト(部品)を操作できるようになることをゴールとしています。 ※Windows対応のExcel VBAコースです。	大村 あつし (Atsushi Omura)
2810	Excel VBA基礎(後編)	VBA基礎レベルを習得することを目的としたコースです。前編・後編を受講することで、マクロの記録で日常業務を自動化できる、VBAでマクロを編集できる、またVBAの基本文法を理解してExcelの基本的なオブジェクト(部品)を操作できるようになることをゴールとしています。 ※Windows対応のExcel VBAコースです。	大村 あつし (Atsushi Omura)
5010	教師あり学習(回帰)	【英語版コース有り】教師あり学習とは、正解ラベル付きのデータセットを使って機械学習モデルを作る手法です。そのなかでも、今回は数値予測を行うための「回帰」モデルの扱い方を確認します。	アイデミー編集部
5020	教師あり学習(分類)	【英語版コース有り】教師あり学習とは、正解ラベル付きのデータセットを使って機械学習モデルを作る手法です。そのなかでも、今回は画像や文章などをカテゴリ分けする「分類」モデルの扱い方を確認します。	アイデミー編集部
5030	教師なし学習	【英語版コース有り】教師なし学習とは、正解ラベルが付いていないデータセットを使って機械学習モデルを作る手法です。今回は、クラスタリングや主成分分析といったアルゴリズムの手法を概観します。	アイデミー編集部
2010	機械学習概論	【英語版コース有り】機械学習の基本や精度評価の方法などを学びます。ここでは、機械学習のアルゴリズムの初歩の初歩に触れていきます。ここで学んだことはどんなアルゴリズムでも必ず出現するので、機械学習や深層学習を初めて学ぶ人は必ずこのコースを受講することを奨励します。 【バーチャルYouTuber版動画】 このコースについての動画は、バーチャルYouTuber版の動画も配信されています。	アイデミー編集部
5090	ディープラーニング基礎	【英語版コース有り】深層学習(ディープラーニング)のアルゴリズムの詳細と実装を概観します。今回はディープラーニングのなかでも基礎的なアルゴリズムであるDNN(ディープニューラルネットワーク)を用いて手書き文字認識に挑戦します。 【バーチャルYouTuber版動画】 この動画は、バーチャルYouTuber版の動画も配信されています。	アイデミー編集部
2020	エッジAI概論	本コースでは、そもそもIoTの仕組みとエッジコンピューティングとの関係性から深掘り、「エッジAI」とは何なのかといった基礎知識から適用するメリットや世の中の事例、具体的にどのようなエッジデバイスがあるのかまでご紹介いたします。あなたも本コースを受講して、エッジAIの世界に足を踏み入れましょう！	坂口 真里奈 (Sakaguchi Marina)
2070	モデル圧縮概論	処理速度を上げることを目的にモデルの軽量化を行うことを「モデル圧縮」と呼びます。本コースは、「モデル圧縮」の概論を理解したい方を想定受講者としており、モデル圧縮の概要、なぜモデル圧縮が必要なのか、モデル圧縮をする方法(蒸留、プルーニング、量子化)を理解することをゴールとしています。	アイデミー編集部
3150	リアルタイム学習AI入門	産業分野の機械制御や生産設備でのAI活用においては、AIの予測精度をいかに維持するかが重要な課題です。本コースでは、運用中にも常にAIのモデル更新を行うことで予測精度を高く維持することが可能な「リアルタイム学習AI」を取り上げます。実践的なエッジAIの活用事例を知りたい方は、是非ご受講ください。	出澤 純一 (Jun-ichi Idesawa)
6150	ネットワーク分析入門	コンピューターネットワークだけでなく、人間関係や企業間の関係や、遺伝子間などの関係などを含めた「ネットワーク」をグラフ理論をベースとして分析する手法を「ネットワーク分析」といいます。このコースではネットワーク分析の基礎知識を学んだ上で、人間関係のデータを分析していきます。	アイデミー編集部
8000	機械学習におけるデータ前処理	Pythonで機械学習を行う際に必要となる様々な前処理を学びます。CSV・Excel・DBからのデータの取得、欠損値への対応方法、不均衡データの調整方法、データのスケール調整や、縦持ち横持ち変換など、実務で必須となる前処理をスマートに実装するためのライブラリ(pandas, scikit-learn, statsmodels, imbalanced-learn, scipyなど)についてコード例を確認しながら習得可能です。	瀬戸山 雅人 (Masato Setoyama)

9140	AI固有のリスクと品質保証	AIの信頼性に関する議論が活発化する中、従来のシステムでは考慮する必要のなかったAI固有の品質特性について学びます。従来のソフトウェアとAIの違い、AI固有のリスク、リスクに対する世界の動向、またAIの学習時と運用時に発生する課題を取り上げ、株式会社Citadel AIのソリューション事例をご紹介します。	小林 裕宜(Hironori Kobayashi)
4300	PyTorch入門	Pythonでディープラーニングを行う際に用いられるライブラリのPyTorchの使い方を学びます。画像分類を例としてMNISTを用いてモデルの訓練から検証の流れを実装します。	アイデミー編集部
6130	深層強化学習発展	このコースでは、強化学習および、強化学習と深層学習を組み合わせた深層強化学習を扱います。主な学習内容としては、強化学習アルゴリズムのDQNを実装していきます。強化学習の基礎的な知識を学んで身につけた上で、OpenAI が提供している「gym」というモジュールを用いた環境でDQN・Dueling DQNを実装していただきます。	アイデミー編集部
9000	Cognitive Toolkit (CNTK) 実践	Microsoft Cognitive Toolkit(CNTK)は、Microsoftが主導して開発しているオープンソースのディープラーニングライブラリです。このコースではCNTKを用いてディープラーニングを学習し、CNNによる一般物体認識、GANによる画像生成まで学びます。	アイデミー編集部
5040	スクラッチ実装して理論を体得する強化学習	強化学習とは、ある特定の環境のなかで、試行錯誤しながら最適な行動を発見する、機械学習の手法の一つでゲームAIなどによく使われる手法です。本コースでは、強化学習アルゴリズムをNumPyのみでスクラッチ実装しながら、強化学習のアルゴリズム理論を会得することを目標とし、最終的には簡単な迷路を強化学習で解いていきます。なお、このコースはAidemyの他コースと異なり、アルゴリズム理論そのものを把握することに主眼を置いています。そのため、大学数学レベルの確率(条件付き確率)の知識や、高校理系数学(数学Ⅲ)の知識を前提としています。	アイデミー編集部
5160	サポートベクターマシン入門	教師あり学習のうち、サポートベクターマシン(以下、SVM)は性能の高いパターン認識手法として根強い人気があります。線形SVMにカーネルトリックという手法を応用した非線形SVMは、複雑な機械学習分類を非常に高い予測精度で行えるモデルのため、ビジネス活用もなされています。今回の講座では、基本となる線形SVMにフォーカスして、概要から数式、ソースコードを学習します。	俺人
6511	理論から学ぶ機械学習	機械学習の代表的な手法を理論から学び、NumPyを用いて実装します。	アイデミー編集部
6521	理論から学ぶRNN(回帰結合型ネットワーク)	本コースでは、時系列データを扱うのに効果を発揮するRNN(回帰結合型ネットワーク)を紹介し、その基礎を解説していきます。	アイデミー編集部
6522	順伝播型ネットワーク	深層学習における順伝播型ネットワークを学びます。順伝播型ネットワークとは回帰構造を持たない深層学習の構造を指します。	アイデミー編集部
6523	生成モデル	生成モデルとは観測データを生成する確率分布を観測データから推定するモデルです。識別モデルと同様に、条件付き確率 $P(y x)$ を予測しますが、その方法が異なります。生成モデルから始まり、VAE、GANといった手法を学びます。	アイデミー編集部
6524	深層モデルのための最適化	深層モデルの学習に用いられる最適化アルゴリズムについて学びます。	アイデミー編集部
6525	深層学習のための正則化	このコースでは、正則化や早期終了などの機械学習モデルの汎化性能を高める各手法について説明していきます。	アイデミー編集部
6526	理論から学ぶ強化学習	Chapter1では、強化学習の基礎である方策ベース(policy-based)と価値ベース(value-based)について紹介した後、Q学習からDQN(Deep Q-Network)の流れについて説明していきます。Chapter2では、強化学習を用いた手法の中の一つであるAlphaGoについて説明します。	アイデミー編集部
6531	深層学習の適用(自然言語処理)	本コースでは一般的にword embeddingとも呼ばれる単語の埋め込み表現とTransformerについて学びます。Transformerは英語→ドイツ語翻訳、英語→フランス語翻訳といったタスクで、当時としては最高の性能を示しました。この発表以来、自然言語処理では、Transformerやその基盤手法であるAttentionを使ったモデル開発が主流と言えるほど広がっています。	アイデミー編集部
6532	深層学習の適用(pix2pix)	pix2pixは2016年、Phillip Isolaら米カルフォルニア大学バークレー校の研究グループ(Berkeley artificial intelligence research :BAIR)が開発した画像のスタイル変換処理をするソフトウェアです。手作業での変換処理の自動化や変換済み画像の復元といった処理ができます。	アイデミー編集部
6533	深層学習の適用(WaveNet)	本コースではWaveNetについて学びます。WaveNetはテキスト音声合成(text to speech: TTS)のディープラーニングモデルの一つです。TTSは、テキストデータの文章から音声を生成する技術です。2016年に米Google傘下の英DeepMindの研究チームによって発表されました。WaveNetより前に提案されてきた手法に比べ、高い精度で自然な音声を作れます。	アイデミー編集部
6534	深層学習の適用(音声認識)	音声認識に必要な知識、フーリエ変換、メル尺度、CTCについて学びます。	アイデミー編集部
6535	深層学習の説明性	深層学習モデルはブラックボックスと一般的に呼ばれておりますが、深層学習モデルを用いて予測を行う場合でもユーザー側としては「なぜそう予測したのか」の説明性が重要です。 説明性とは「推論結果において、入力したデータの各説明変数が 予測結果にどの程度影響を与えたのかなどを示すこと」です。 これらの技術は総称してXAI (eXplainable AI) と呼ばれており、XAI 技術は大局的説明と局所的説明に大別されます。 そこで本コースでは、大局的説明として、深層学習モデルの判断根拠を示す「Grad-CAM」と、局所的説明として、深層学習モデルを単純な線形モデルで近似する「LIME」、「SHAP」の説明を行います。「LIME」、「SHAP」は単純なモデルで近似する考え方は共通します。	アイデミー編集部
6540	分散処理	深層学習に演算に用いられるGPU、深層学習の処理時間を短縮する手法を紹介します。	アイデミー編集部
6550	深層学習ライブラリ	本コースでは深層学習ライブラリについて学びます。深層学習ライブラリは、深層学習のための「フレームワーク」と呼ばれるモジュールや、その「Higher API」をひとまとめに指す言葉として使われています。例えばフレームワークであれば、米Googleが開発した「TensorFlow(テンサーフロー、テンソルフロー)」や米Facebookの研究グループが開発した「PyTorch(パイトーチ)」などがあります。	アイデミー編集部
6560	理論から学ぶCNN	この講座では、CNNの理論や応用例について取り扱います。また、CNNの代表的なネットワークについても学びます。	アイデミー編集部

6570	距離学習	本コースでは、多くの分野で使用されている距離学習について紹介し、その基礎的な理論と数式を図を用いて解説します。	アイデミー編集部
6571	メタ学習	メタ学習の概要、またメタ学習の手法であるMAMLについて学習します。	アイデミー編集部
6580	グラフニューラルネットワーク	GNN(Graph Neural Network)とはグラフデータを扱うように開発されたニューラルネットワークです。グラフデータとは、「ノード(頂点)」と「エッジ(辺)」で構成されるデータで、SNS、分子構造、IoTのセンサー間の関係性、電力網、コンピューターグラフィックスの3Dモデルなど我々の生活の身近に普及しています。グラフニューラルネットワークから畳み込みグラフニューラルネットワーク、Spectral GCNについて学びます。	アイデミー編集部
5060	時系列解析 I (統計学的モデル)	時系列データ解析とは、季節変動や曜日変動など定期的周期を持った時系列データの解析を行うためのアルゴリズムです。このようなトレンドを除去しながら数値予測を行う手法に挑戦します。	アイデミー編集部
5130	時系列解析 II (RNNとLSTM)	深層学習のネットワークである、RNNとLSTMについて学びます。深層学習では、時系列データの分析ができませんでした。このコンテンツでは、なぜ時系列分析ができなかったのか、どのようにして時系列分析ができるようになったのかについて理解を深めていきます。	アイデミー編集部
6160	時系列解析 III (LSTM応用)	時系列を扱う深層学習のネットワークである、LSTMを用いて、売上予測を実装していきます。時系列データの前処理から、ネットワークの構築・予測を学習していきます。	アイデミー編集部
4050	データクレンジング	データクレンジングとは、機械学習モデルにデータを読み込ませるために、データの欠損値や画像の前処理を行う手法です。CSVデータの扱い方や欠損値の処理、OpenCVを用いた画像加工の方法などを押さえます。	アイデミー編集部
5070	異常検知入門	異常検知や変化点検知は、統計学において長らく議論されてきた分野の一つです。現代では時系列データやサーバーへのアクセス数、人体の生理データなどを対象分野で活用されています。こちらのコースでは機械学習に基づいた異常検知の技術を体系的に学習します。またデータの種類に応じた最適な手法を学んでいきます。	アイデミー編集部
5080	画像データによる異常検知: 入門編	本コースでは、画像データを用いた異常検知技術の解説と演習問題を通じた異常検知システムの実装体験をしていただけます。畳み込みニューラルネットワーク(CNN)を用いた分類器の作成、評価データのヒートマップ表示等の技術を身につけて、あなたも画像系のAIエンジニアを目指しましょう！	倉本 圭 (Kei Kuramoto)
5081	画像データによる異常検知: 実践編	本コースでは、画像データを用いた異常検知技術の解説と演習問題を通じた異常検知システムの実装体験をしていただけます。オートエンコーダを用いた教師なし学習による異常検知技術や評価方法やリコールとプレジジョンの関係把握、プロジェクトマネジメントの勘所を学び、あなたも異常検知エンジニア、プロジェクトマネージャを目指しましょう！	倉本 圭 (Kei Kuramoto)
5100	CNNを用いた画像認識	深層学習(ディープラーニング)のアルゴリズムのなかで、主に画像認識で用いられ活用の幅が広いCNN(Convolutional Neural Network)の実装を概観します。今回はCNNを用いて手書き文字認識や一般物体認識に挑戦し、精度向上のテクニックや転移学習の実装に関して触れます。	アイデミー編集部
6410	画像認識モデル精度向上のための重要テクニック 画像アノテーション実践	画像アノテーションとは画像データにラベルを付ける作業を指します。特に物体検知に用いられる枠付けのアノテーションをLabelImgを用いて実際に行います。アノテーションを行う上でのコツや複数人で行う際の注意点についても解説しています。	アイデミー編集部
6420	手を動かして学ぶ! 物体検出実践ガイド	YOLOv8を用いた物体検出モデルを作り、Google Colaboratory上でアライグマと猫の物体検出を行います。また結果の可視化、精度の改善にも取り組みます。	アイデミー編集部
6530	深層学習の適用(画像認識)	本コースでは、CNNの応用であるDenseNet、MobileNetについて紹介し、その基礎を解説していきます。	アイデミー編集部
5050	自然言語処理基礎	自然言語処理の方法について学びます。コンピュータは言語を言語のまま理解することはできず、数値に変換する必要があります。今回は、文章を数値に変換する手法を学び、教師あり学習(分類)を使ってカテゴリ分類に挑戦します。	アイデミー編集部
6020	ネガ・ポジ分析	文章などに含まれる評価・感情に関する表現を抽出して、文章中の感情を解析する感情分析の一種であるネガ・ポジ分析について学習し、実際にネガ・ポジ分析を行います。	アイデミー編集部
6110	日本語テキストの特徴抽出	自然言語処理とネットワーク分析により、日本語テキストから特徴を把握する方法を学びましょう。テキストを定量的に解析することは、大量の文書を効率よく正確に把握することに役立ち、ひいては新たな知識の発見や戦略的意思決定に寄与します。	アイデミー編集部
6120	自然言語処理を用いた質問応答	機械翻訳や自動要約など、発展的な自然言語処理において深層学習はとて有力な手法です。ニューラルネットワークモデルを用いた自然言語処理における、前処理、具体的手法を、質問応答システムを作成しながら説明し、実装していきます。	アイデミー編集部
5110	ランキング学習	定義した重要度に基づいて情報を並べるための機械学習の一手法をランキング学習と言います。本コースではランキング学習の基礎知識から、理論の理解、実装、評価に至るまでを体系的に学びます。具体的には、あるキーワードに対して重要度の高い文書を探し出すことができるようになります。基礎知識を習得した上で、教師ありデータセットのランキング学習をしていきます。	アイデミー編集部
5150	遺伝子データを用いた機械学習	医学/生物学系でもバイオインフォマティクスデータなどのビッグデータや機械学習などの技術が注目されています。このコースでは、バイオインフォマティクスに興味のある方を対象としており、基本的な生物学データの解説・遺伝子解析データを元に、PCA、tSNEなどのデータの可視化技術、そして正常組織とがん組織を判断する機械学習・深層学習の手法を学習します。このコースの受講後、ご自身の課題にすぐに応用することが可能です。	とし (Toshi)
5170	推薦システム実装入門	AmazonなどのECサイトやNetflixなどの動画ストリーミングサービスなどは、「推薦システム」の技術によって大きな価値をユーザに提供しています。技術の進歩やデータ活用の進歩を背景に、今後も推薦システムの社会実装は進んでいくことでしょう。 本コースを通して、推薦システムの概要や設計に際して考慮すべき点などを理解し、簡単なアルゴリズムを実装できるようになっている状態を目指します。	アイデミー編集部

5180	マテリアルズインフォマティクス概論	本コースでは、マテリアルズインフォマティクスの概要と実例紹介、実体験をしていただくための演習問題の提供を行います。あなたも本コースを受講して、材料にまつわるデータを機械学習で解析する、マテリアルズインフォマティクスを体験してみましょう！	倉本 圭 (Kei Kuramoto)
5360	3次元データを分析 Pythonを用いた点群処理入門	点群データの処理の基本を解説します。データ読み込みからサンプリング、マッチング、プリミティブ検出まで実装し、ディープラーニングを用いない分類技術を習得します。	アイデミー編集部
6050	感情分析/株価予測	ITライフハックのデータを用いた感情分析と、日経平均株価の時系列データを用いて株価の上下の予測を行います。	アイデミー編集部
6070	強化学習を用いた三目並べゲームの開発	きちんと動作する三目並べゲームを作成し、ゲームにおける行動選択を学習させる手法を学びます。深層強化学習アルゴリズムであるDQN(Deep Q-Network)を用いて、強化学習に必要な考え方やプログラミングを習得していただきます。 ※本コースでは、実行時間が5分以上かかり、アイデミーのWEB上では実行が難しい問題が出てきます。そのため、そのような問題は、Google Colaboratory や jupyter notebook 等の実行環境にて、コードを実行してください。	アイデミー編集部
6100	男女識別(深層学習発展)	このコースでは、顔写真を男女で識別するプログラムを実装することで、深層学習を用いたシステム開発の流れを理解していただけます。具体的には、データ収集からデータクレンジング、CNNモデルの学習・予測、応用的な転移学習や精度向上のための方法を学びます。	アイデミー編集部
6170	商品の需要予測にもとづく在庫管理	商品の在庫管理・需要予測に関する基礎知識と勘所の解説とPythonプログラムによるシステム実装体験による実践力育成を目指します。需要予測のような時系列データの把握は難しい部分も多いですが、勘所をとらえて業務活用を目指しましょう！	倉本 圭 (Kei Kuramoto)
6800	意思決定につなげる教師なしクラスタリング	教師なし学習の実務適用に苦戦されている方を対象にしています。一般的なチュートリアルで用いられるデータよりも複雑な「プロ野球の投手成績」を題材に、教師なし学習の適用と解釈を学びます。実データへの応用例を通し、教師なし学習を実務に適用するイメージを持ちたい方、実務での意思決定に役立つ知識を身につけたい方におすすめです。	アイデミー編集部
8012	【新】タイタニック(kaggleのコンペ)	機械学習を用いて、タイタニック号の悲劇からどのような人々が生き残る可能性が高いのかを予測します。データ分析コンペであるKaggleのタイタニック号の生存率予測コンペを題材にしているため、Kaggleでも通用する能力を身につけられます。実際にKaggle上でNoteBookを作成し、分析、可視化、予測、提出をしながら、分析のサイクルを学んで行きましょう。	アイデミー編集部
8040	住宅価格予測(kaggleのコンペ)	機械学習を用いて、どのような住宅がどのような価格になるのかを予測します。実際に住宅に関するデータセットを利用して、住宅価格予測を行います。データ分析コンペであるKaggleの住宅価格予測コンペを題材にしているため、kaggleでも通用する能力を身につけることができます。	アイデミー編集部
8070	手書き数字認識(kaggleのコンペ)	機械学習を用いて、何万もの手書き画像のデータセットから数字を正しく識別します。実際にMNIST("Modified National Institute of Standards and Technology")のデータセットを利用して、識別を行います。データ分析コンペであるKaggleの数字認識装置コンペを題材にしているため、Kaggleでも通用する能力を身につけることができます。	アイデミー編集部
9400	機械学習活用プロジェクトの進め方: AWS AI/ML Enablement Series Light Part	機械学習を自社の製品で活用するためのプロジェクトの進め方を解説します。プロジェクトのビジネス目標設定から評価までの各プロセスで必要になる実装技術に加え、関係する様々な職種の方とのコミュニケーション方法も学びます。Pythonを用いた実装は無料で利用できるAmazon SageMaker Studio Labを使った演習、コミュニケーションはロールプレイによる演習を通じ学びを深めます。 ※本コース受講後、本格的な機械学習モデル開発をAWSで行う場合「AWS で機械学習の開発運用を効率化する: AWS AI/ML Enablement Series Dark Part」の受講を推奨します。	AWS Black Belt ML Enablement シリーズ
9410	AWS で機械学習の開発運用を効率化する: AWS AI/ML Enablement Series Dark Part	AWSの機械学習サービス、Amazon SageMakerを用いた機械学習の開発運用プロセスを効率化する方法を解説します。機械学習モデルを本番環境へリリースし運用するまでの各プロセスで発生する課題とAmazon SageMakerによる課題解決策を解説します。学習結果やモデルの管理、デプロイ、運用監視といったいわゆるMLOpsと呼ばれる話題を扱います。 ※機械学習モデルの開発・運用を行う前提のため機械学習プロジェクト自体を開始する方法は「AWS で機械学習の開発運用を効率化する: AWS AI/ML Enablement Series Light Part」を受講してください。	AWS Black Belt ML Enablement シリーズ
4120	データサイエンス100本ノック(構造化データ加工編)(初級)	一般社団法人データサイエンティスト協会がGitHubに公開している「データサイエンス100本ノック(構造化データ加工編)」(※)の問題演習を、環境構築不要で行うことができるコースです。このコース(初級)では、「列や行に対する操作」「結合」「縦横変換」「四則演算」などについて学ぶことができます。ビジネス現場における分析実務では、データの多くが構造化データです。構造化データを自由に加工・集計するスキルを磨き、データサイエンスの実践力をアップさせましょう。 ※ファイルはMITライセンス	アイデミー編集部
4130	データサイエンス100本ノック(構造化データ加工編)(中級)	一般社団法人データサイエンティスト協会がGitHubに公開している「データサイエンス100本ノック(構造化データ加工編)」(※)の問題演習を、環境構築不要で行うことができるコースです。このコース(中級)では、「あいまい条件」「ソート」「集計」「サンプリング」などについて学ぶことができます。ビジネス現場における分析実務では、データの多くが構造化データです。構造化データを自由に加工・集計するスキルを磨き、データサイエンスの実践力をアップさせましょう。 ※ファイルはMITライセンス	アイデミー編集部
4140	データサイエンス100本ノック(構造化データ加工編)(上級)	一般社団法人データサイエンティスト協会がGitHubに公開している「データサイエンス100本ノック(構造化データ加工編)」(※)の問題演習を、環境構築不要で行うことができるコースです。このコース(上級)では、「データ変換」「数値変換」「日付型の計算」「外れ値・異常値」などについて学ぶことができます。ビジネス現場における分析実務では、データの多くが構造化データです。構造化データを自由に加工・集計するスキルを磨き、データサイエンスの実践力をアップさせましょう。 ※ファイルはMITライセンス	アイデミー編集部
2230	Python×Excelでデータ分析	Pythonでのデータ分析の概要と、Excelを操作してデータ集計と可視化する方法について学習するコースです。データの収集や前処理にPythonをどう活用する余地があるかの概要紹介をした後、CSVのデータ読み込みやテキスト処理の演習を行います。後半では、PythonからExcelのデータ読み込みと集計を行い、集計したデータをもとにExcelにグラフ追加する一連の流れを演習します。 ※本講座では統合開発環境としてPyCharmを利用した解説を行います。Aidemy上の環境でPythonのプログラム演習を行うため、インストールや統合開発環境の準備といった作業は必須ではありません。	北野 勝久 (Katsuhisa Kitano)

5210	現場で役立つPython×数理最適化:入門編	本コースでは、数理最適化の基本的な考え方から広く用いられるものの代表的な問題例を学びます。あわせて、それらの問題についてPythonを用いて解く方法を学びます。本コースを受講して、データ解析、生産、物流、スケジューリングなど多様な分野で活用できる数理最適化技術の基礎を身につけましょう。	小林 和博 (Kazuhiro Kobayashi)
5220	現場で役立つPython×数理最適化:実践編	本コースでは「現場で役立つPython×数理最適化:入門編」で学んだ知識を土台とし、より実践的に問題を解く方法を学びます。特に、実務の解決のためによく用いられる典型的問題の扱い方を学ぶとともに、それらの問題についてPythonを用いて解く方法を学びます。本コースを受講することで、みなさんが抱えている業務上の課題を、数理最適化を用いて解決する糸口がわかるようになるでしょう。	小林 和博 (Kazuhiro Kobayashi)
2060	ケーススタディで学ぶ実践PoC入門	機械学習を用いたシステム開発を実施する上で気をつけるべき点を、機械学習工学という観点から解説します。ケーススタディを通して機械学習プロジェクトを成功に導くためのノウハウを学び、実践できる状態になることがゴールです。	高橋 諒
2310	明日から活かす、DevOps	DevOpsはソフトウェア開発者のためだけの考え方だと思われがちですが、実際は様々な場面で活かすことができます。DevOpsの言葉の成り立ちや、DevOpsのコアコンセプトの学習を通じて、皆さんの業務にDevOpsの考え方を取り入れましょう。	北野 勝久 (Katsuhisa Kitano)
2320	スクラム開発概論	アジャイル開発手法のひとつであるスクラムについて、スクラムの定義や特徴の解説から、実業務への導入や運用での必要な基礎的な知識、具体的なプロセスまでを事例を交えて解説します。	安村 修一
2917	生産性を高める チーム開発入門	デジタル変革を進める企業にとって、チーム開発スキルは不可欠です。本コースは、基本的なプログラミングスキルを持ちながら、チーム開発の経験が少ないエンジニアを対象に、実践的なチーム開発スキルを解説します。チーム内での効果的なコミュニケーション、共有を意識したコーディングやドキュメント作成方法、バージョン管理ツールの活用方法を理解することをゴールとしています。	伊澤 伸(Shin Izawa)
2918	ソフトウェアエンジニアのための設計手法 基礎	ソフトウェア設計の基礎を学びたい方を対象に、ソフトウェア設計が開発プロセスや品質保証に与える影響について解説します。現代のソフトウェア開発で広く利用される効果的な設計手法や原則を理解することをゴールとしています。	伊澤 伸(Shin Izawa)
3300	ソフトウェアテストの基礎	ソフトウェアの品質保証活動の1つであるソフトウェアテストについて、その必要性と難しさを解説します。 また、テストの七原則や、品質保証(QA)および品質管理(QC・QM)における基本的な考え方など、ソフトウェアテストにおいての心構えも併せて扱います。	アイデミー編集部
3301	「早めのテスト」で開発の質とスピードを改善！ソフトウェアテストの実践	ソフトウェアの品質保証には「適切なタイミングで適切なテストを行うこと」が必須です。本コースでは、品質やテストの定義、テストプロセスの理解から始め、代表的なテスト設計技法である同値分割テスト、境界値分析テスト、デジジョンテーブルテスト、状態遷移テストを学びます。ソフトウェア開発に関わる方が対象です。	風間 裕也(Yuya Kazama)
1080	Git入門	開発に用いられるGitについて理解しましょう。	アイデミー編集部
1110	コマンドライン入門	「コマンドプロンプトとは」から始まり、コマンドプロンプトの基本的な使い方から主要なコマンドの使い方についてご紹介していきます。システム開発やシステムの設定を行う時にコマンドプロンプトから操作する場合もありますので、基本的な知識を身につけていきましょう！	ひろにも
2110	Linux入門	本講座ではOSやPCの仕組みを深掘り、Linuxとは何なのかといった基礎知識やメリット、そして現場での使われ方などについて、初心者にもわかりやすく噛み砕いて解説していきます。本講座を通して、Linuxが身近で使われていることを体感し、上手にLinuxを活用していきましょう。	大河内 光博
2290	Linux実践	本講座では実際にVirtualBoxという仮想環境を用いてUbuntuをインストールし、基本的な設定方法や使い方、ネットワークやセキュリティ対策について解説していきます。本講座を通して実際にLinuxを手で動かしながら使い方や仕組み、コマンドでの操作方法を理解して実践レベルで使えるようにしていきます。	大河内 光博
3020	Docker入門	本講座では、Dockerとは何か？から始まり、そもそものDockerの仕組みについて深掘りしていき、周辺ツールの紹介なども踏まえてDockerに対する理解を深めていきます。最後には、具体的な事例紹介をすることでDocker活用に対する具体的なイメージを掴んでいきます。Dockerに対する理解を深めて是非活用していきましょう。	黒河 佑樹 (Kurokawa Yuki)
3021	Docker実践	実際にコマンドを入力してDockerの使い方を学びます。	アイデミー編集部
2240	ゼロトラスト・セキュリティ概論	クラウドサービスの利用や働き方改革によるリモートワークの増加にともない、これまで以上に深刻となってきたのがセキュリティ問題です。ここでは、これまで主流とされてきた情報セキュリティとは一線を画すゼロトラスト・セキュリティという考え方について、その台頭の経緯と目的を理解しながら、自社での活用検討につながる知識を学んでいきます。	金子春信
2281	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	プライバシー保護対策は「コスト」ではなく、自社の価値を高めるものです。本コースでは、企業トラブルの事例を通じて注意点を押さえ、法律やリスク低減のフレームワークを学ぶことで、DX推進の守りに強くなることを目指します。サイバーセキュリティに携わる方、パーソナルデータを利活用する方が対象です。	山下 大介(Daisuke Yamashita)
2620	情報セキュリティよもやま話 Vol.1	誰もが日常的にネットワークにつながり、インターネットを通じて大量の情報をやりとりしている昨今。情報セキュリティの基本的な考え方は、今やIT担当者や専門家のみならずあらゆる人が知っておくべき常識になりつつあります。 本コースでは、情報セキュリティの基本を、中山とこてん氏の視点からわかりやすく解説します。パスワード、WiFi、スキミングなどにまつわる身近な例を入りに、情報セキュリティについてあらためて考えてみませんか。 初回では、zipファイルのパスワードを不正に割り出す手口からセキュリティの本質に迫ります。	中山とこてん
2621	情報セキュリティよもやま話 Vol.2	情報セキュリティの基本的な考え方は、あらゆる人が知っておくべき常識になりつつあります。本コースでは、その基本を中山とこてん氏の視点からわかりやすく解説します。パスワード、WiFiなどの身近な例を入りに、セキュリティについて今一度考えてみませんか。 今回は、オンライン攻撃から身を守る対策を取り上げます。	中山とこてん

2908	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	ビジネス職・エンジニア職を問わずセキュリティマネジメントを担う初心者に向けて、セキュリティインシデント対策の考え方と対応方法の概要をお伝えします。DX時代のセキュリティリスクの例を交えながら、事業継続性を高めるための基本的な取り組みについて解説し、自社に引き寄せて考えていただくことをゴールとしています。	竹内 文孝 (Fumitaka Takeuchi)
3140	エンジニアのためのセキュリティ入門	ソフトウェアの開発環境や成果物において、セキュリティリスクへの対策は欠かせない要件となっています。本コースではサイバー攻撃の目的や手法をはじめ、セキュリティを学ぶうえで必要な考え方を紹介。それらを踏まえた上で、高度化するサイバー攻撃の実例と対策について解説します。	小林 怜央(Reo Kobayashi)
2000	ブロックチェーン入門	ブロックチェーン=仮想通貨だと思いませんか？ ブロックチェーン技術は仮想通貨のみならず、いまや様々な分野で活用されており、今後さらなる期待が注がれる先端技術のひとつです。この講座では、ブロックチェーンの構造、特徴から、実用例、今後の展望まで、初学者にこそわかりやすく解説しています。ビジネスパーソンとして恥ずかしくない、最低限のブロックチェーン知識を当講座で身につけましょう。	森 一弥(Mori Kazuya)
2590	Web3入門	Web3は、ブロックチェーン技術によって実現する次世代のWeb構想です。この講座では、その核となるアイデアをはじめ、従来のWebと異なる点、Web3が実現する世界や関連技術について解説します。	堤 真聖 (Masato Tsutsumi)
5300	ビジネスチャンスを見逃さない初めてのメタバース	メタバースの歴史を皮切りにメタバースの定義を説明します。次にオープンなメタバースの重要性を説明し、メタバースの流行と投資額の増加および投資理由について説明します。次に、メタバースの実用例を紹介して、最後にメタバースのデメリットを説明します。	アイデミー編集部
7000	ブロックチェーン基礎	ブロックチェーン基礎コースではブロックチェーンの概念を理解し、Pythonを用いてマイニング、トランザクションの追加、コンセンサスアルゴリズムなど大まかな流れを実装します。ブロックチェーン技術は様々な分野での利用が提案されますが、今回は最も有名な暗号通貨(仮想通貨)であるビットコインに焦点を当て、ビットコインのコア機能を実装します。	アイデミー編集部
7110	ブロックチェーン発展I	暗号通貨のセキュリティの面からの理解と実装をしていきます。ビットコインの所有権は、秘密鍵、公開鍵、ビットコインアドレス、署名に基礎を置いています。中でも秘密鍵に関してはビットコインネットワークから独立して、ウォレットと呼ばれる秘密鍵を保管する単純なデータベースの中に保持されています。このコンテンツでは、主に秘密鍵・公開鍵・ビットコインアドレスの生成、ウォレットの実装をしていきます。	アイデミー編集部
7120	ブロックチェーン発展II	ビットコインシステムにおいて、トランザクション(取引記録)とは最も重要な部分です。ここではトランザクションの構造を解説し、アカウント別の残高計算方法、なりすましを防ぐ仕組みを学びながら実装していきます。	アイデミー編集部
7130	ブロックチェーン発展III	一般的なノードはブルームフィルタを用いて、プライバシーに関するリスクを減らしながら必要なトランザクション情報を集めます。またブロックチェーンの個々のブロックは、マークルツリーという手法を用いて、そのブロックに格納されている全てのトランザクションを要約した情報を含ませています。ここではこの2つの実装を行います。	アイデミー編集部
9050	製造業×XR(VR・AR・MR)入門	本コースでは法人利用のXR活用についての基本情報をお伝えしております。XRとは、VR・AR・MRの先端技術の総称です。DXや5G、IoT等の流れも汲み、XR活用の可能性は急速に広がっています。「自社の事業でXRを活用してみたい」「XRについてまずは概要を捉えたい」「効果的にXRを導入するためのポイントを知りたい」といった方に最適です。	渡辺 愛美 (Watanabe Aimi)
2040	Jetson Nanoセットアップ入門	本コースでは、NVIDIAのJetson Nano™開発者キットの製品概要から使用するための事前準備～セットアップの方法までを学ぶことができます。初心者の方でも簡単にセットアップできるように手取り足取り解説しています。エッジデバイス上でのAI推論の導入として最適なJetson Nanoを起動してみましょう。	坂口 真里奈 (Sakaguchi Marina)
2300	ロボティクス入門	実際のビジネス現場でロボットを使って業務の自動化を企画・実行する可能性がある方を受講対象者としています。ロボットとは何か、ロボットができることとできないこと、コストや活用事例を理解することで、業務改善提案における解決策の選択肢の1つとすることができる状態を受講後のゴールと置いています。	森山 和道 (Kazumichi Moriyama)
4150	ROS入門【基礎編】	ロボットオペレーティングシステム「ROS」について、「ROS」が開発された歴史的背景やその考え方、システム構成やコミュニティといった「ROS」の基礎知識を紹介します。本コースはクリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンスで一般社団法人東京オープンソースロボティクス協会から提供されている「ROS概要」をもとに作成されています。	一般社団法人東京オープンソースロボティクス協会
4160	ROS入門【ROS2編】	新しいロボットオペレーティングシステム「ROS2」について、「ROS2」が開発された背景や考え方、従来からの「ROS (ROS1)」との違いやシステム構成、導入やバージョン移行の際に参考になりたい情報などについて基礎知識を紹介します。本コースはクリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンスで一般社団法人東京オープンソースロボティクス協会から提供されている「ROS2概要」をもとに作成されています。	一般社団法人東京オープンソースロボティクス協会
9010	IoTデバイスへの機械学習モデルのデプロイ	Microsoft Azureを用いて、IoT Edge デバイス(Raspberry Pi)に機械学習モデルをデプロイする方法を学習し、IoT Edge デバイスで処理した情報をIoT Hub(クラウド)に送ります。今回使用する機械学習モデルは、Mobile NetというiPhoneなどの計算資源の少ない機器でも深層学習を実行することができるモデルです。	dahatake (Daiyu Hatakeyama)
9100	ソラコム流、ラズパイで始めるIoT	AIの優劣を左右するのは「データの質」。よりよいデータ分析に役立つ活きたデータを、IoT(Internet of Things)で収集してみましょう。本コースでは「ラズパイ」の略称で知られる小型パソコン「Raspberry Pi」と「モバイル通信」を組み合わせ、どこからでもリアルタイムのデータ収集ができるデバイスを作ります。IoTを始めるのに、特別な技術は要りません。 ※本コースにはデバイスの別途購入が必要です。事前に「9100 ソラコム流、ラズパイで始めるIoT 1.2.1 受講の前に必要な準備」をご確認ください。	松下 享平 (Matsushita Kohei)
2710	BIM/CIM入門 vol.1～仕組みと効果を知る～	建設業界で、BIMといった言葉を聞いたことがあっても使ったことがない、よく知らないという方を対象として、3本立てでBIMの概要と活用方法を解説します。活用の利点・注意点を知り、具体的な事例を通じて自社での活用イメージをつかんでください。vol.1ではBIMの基本を学んでいきます。	家入 龍太(Ryota Ieiri)
2720	BIM/CIM入門 vol.2～導入と設計・施工での実践例～	建設業界で、BIMといった言葉を聞いたことがあっても使ったことがない、よく知らないという方を対象として、3本立てでBIMの概要と活用方法を解説します。活用の利点・注意点を知り、具体的な事例を通じて自社での活用イメージをつかんでください。vol.2ではBIMを活用する方法について詳しくお伝えします。	家入 龍太(Ryota Ieiri)

2730	BIM/CIM入門 vol.3～建設DXに向けて～	建設業界で、BIMといった言葉を聞いたことがあっても使ったことがない、よく知らないという方を対象として、3本立てでBIMの概要と活用方法を解説します。活用の利点・注意点を知り、具体的な事例を通じて自社での活用イメージをつかんでください。vol.3ではVRなどの先端技術との関わりや建築DXについて概説します。	家入 龍太(Ryota Teiri)
2731	BIM/CIM実践	BIM/CIMをこれから活用する方に向けて、建設業務での実践方法を概説します。とくに国土交通省が策定している基準・要領に沿って、各段階における利用方法や要点、事例をお伝えします。BIM/CIM施策は発展途上なので、本コースをきっかけとして積極的に使うことで、よりよい活用事例を増やしていきましょう。	加賀屋 太郎(Taro Kagaya)
2890	ChatGPT入門	ChatGPTはアメリカの組織が開発した人工知能チャットボットです。2022年11月にリリースされ、高度な応答から瞬く間に注目を集め、わずか2カ月で月間アクティブユーザ数が1億人を超えました。本コースでは、ChatGPTとは何か、従来のAI技術やチャットボットと比べてどう優れているのか、その使い方について学びます。	アイデミー編集部
2891	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	ChatGPTをはじめとする生成AIを使うための指示文の書き方(プロンプト)を学ぶコースです。生成AIについての基本事項を理解し、業務のなかで効果的に生成AIを活用できるようになることを目指します。	永田 祥平(Shohei Nagata)
2892	事例で学ぶ！生成AI組み込みで社内業務効率化	銀行でのチャットボット、予備校での英文添削、経理処理の効率化といった事例をもとに、生成AIに解決できる課題をイメージし、導入プロセスを理解します。ChatGPTなどの生成AIを「使う」ところから一歩踏み込み、「社内システムに組み込む」ことでさらなる業務効率化を実現しましょう。	千葉 駿介(Shunsuke Chiba)
2893	スピードとクオリティを爆上げ！開発業務に生成AIを活用する	「人ではなくAIがコーディングをする」が当たり前になりつつあります。本コースでは、要件定義書の作成、コーディング、UI設計、リファクタリングといった工程でChatGPTやGitHub Copilotなどの生成AIをどう活用するかを学びます。注意点も理解することで、生成AIを日々の開発業務にスムーズに導入することを目指します。	千葉 駿介(Shunsuke Chiba)
2916	コンピュータサイエンス入門	コンピュータサイエンスは、コンピュータの理論、設計、応用に関する研究を行う学問分野です。この分野では、基礎となるアルゴリズムやデータ構造に加え、実際の開発プロセスにおけるソフトウェアエンジニアリングについても学びます。	古宮 浩行(Hiroyuki Komiya)
5350	仮想空間を使って現実を改善 デジタルツイン入門	デジタルツインは、医療、災害対応等の社会生活の中でも重要となりつつある技術です。本コースでは、デジタルツインの歴史・定義から始め、関連する技術の動向や応用事例を学び、デジタルツイン(特に製造業・建築土木・都市管理・医療分野)に関する正確な認識と知識を獲得します。	アイデミー編集部
2781	10分でキャッチアップ_GXとは	GXやカーボンニュートラルについて、聞いたことはありますか？ いずれも「地球の気候変動対策のために、二酸化炭素のような温室効果ガスを減らしていくこと」を表す言葉です。本コースでは、身近なGXの事例を挙げながら、キーワードの定義や意味、必要な技術、抱える課題などを10分にまとめてご紹介します。	柳田 晃輔(Kosuke Yanagida)
2130	機械学習につながるビジネス数学	本講座は、ビジネス数学はある程度理解しているが、機械学習はぼんやりとしか理解していない、特に文系出身の方を想定した講座です。機械学習のビジネス活用がビジネス数学の延長線上にあることを理解している状態が講座のゴールです。	横山 明日希(Yokoyama Asuki)
2270	数学入門(微分積分)	企画や営業といったビジネス職の方から、これからデータサイエンティストを目指したい方まで、数学の「微分積分」の基礎を学び直したい方を受講対象者としています。受験数学のような公式を使いこなすテクニク的な話ではなく、AIやデータ分析との関係性を意識しながら、微分積分の概要とポイントが押さえられる講座です。	下島 健太(Shimajima Kenta)
2400	数学入門(線形代数)	企画や営業といったビジネス職の方から、これからデータサイエンティストを目指したい方まで、数学の「線形代数」の基礎を学び直したい方を受講対象者としています。受験数学のように、公式を使いこなしてひたすら計算をしていくような内容ではなく、AIやデータ分析との関係性を意識しながら、線形代数の概要とポイントが押さえられる内容です。	下島 健太(Shimajima Kenta)
6300	ビジネス数学	【英語版コース有り】ビジネスでは数学を実践的に扱うことが多々あります。そこで、本コースでは実際のビジネスで役立つ数学的手法をいくつか紹介します。	横山 明日希(Yokoyama Asuki)
2260	ビジネス統計学入門	ビジネスで「データを活用できるようになりたい」方を受講対象者としています。まずはビジネスでデータを活用するためのポイントを押さえ、次に、統計学の難解な理論や数式は極力抑えつつ、データ分析のポイントである「グラフ化」「関係を見つける」「数値の予測」の基本を学びます。実際にExcelを用いた演習も含むので、ビジネス現場ですぐ役立つ内容です。	米谷 学(Yoneya Manabu)
3200	仕事に活かす記述統計	記述統計は手元にあるデータをわかりやすい形に変換・解釈を加えていく学問です。このコースではビジネスにおける記述統計学の使い方を学びます。グラフの取り扱いや統計値の使い方まで、ビジネスに役立つ知識を身につけましょう。	アイデミー編集部
3210	仕事に活かす推測統計	サンプリングデータを分析し、母集団についての予測や結論を導き出す推測統計について学びます。仮説検定の流れ、実務に活かす際の注意点を解説しております。	横山 明日希(Yokoyama Asuki)
6509	確率論・情報理論	本コースでは機械学習を学ぶ上で必要な確率論や情報理論を学びます。	アイデミー編集部
3130	ITパスポート対策	IT全般に関する基礎知識や、情報セキュリティに関する規定・法規を習得するとともに、社会人として企業活動を行う上で必要な経営や組織に関する知識や、業務上の問題を把握し解決するための分析手法、システム化の支援を行う上で必要な運用知識などの習得を目指します。ITパスポート受験レベルの知識習得を想定したコースです。	ピーシーアシスト株式会社
3090	Python3エンジニア認定データ分析試験対策①	「Python3エンジニア認定データ分析試験」の対策講座です。本番の試験に合わせ、1講座につき40問を出題。本試験で出題される「データエンジニアの役割」から「Pythonと環境」「数学の基礎」「ライブラリによる分析実践」までの各分野のポイントを効率良く学習できます。ぜひ本講座で出題傾向に慣れてください。	アイデミー編集部
3110	Python3エンジニア認定データ分析試験対策②	「Python3エンジニア認定データ分析試験」の対策講座です。本番の試験に合わせ、1講座につき40問を出題。本試験で出題される「データエンジニアの役割」から「Pythonと環境」「数学の基礎」「ライブラリによる分析実践」までの各分野のポイントを効率良く学習できます。ぜひ本講座で出題傾向に慣れてください。	アイデミー編集部

3120	Python3エンジニア認定 データ分析試験対策③	「Python3エンジニア認定データ分析試験」の対策講座です。本番の試験に合わせ、1講座につき40問を出題。本試験で出題される「データエンジニアの役割」から「Pythonと環境」「数学の基礎」「ライブラリによる分析実践」までの各分野のポイントを効率良く学習できます。ぜひ本講座で出題傾向に慣れてください。	アイデミー編集部
2120	G検定対策講座	AI技術の実装の遅れが問題視されるなか、AI人材の育成を目的としたG検定が注目を集めています。本講座では、機械学習やディープラーニングなどの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定しながら事業活用するための能力を測るG検定の資格保有者を増やし、資格保有者たちがAIプロジェクトやAI部署の立ち上げといったビジネスシーンでの応用性を身に付けられるために、G検定対策のイロハを学習していきます。なお、本講座はJDLA(日本ディープラーニング協会)『G検定公式テキスト』を補助教材として受講されることを前提としています。	巢籠悠輔(Yusuke Sugomori)
2420	「データサイエンティスト検定 リテラシーレベル」対策	【データサイエンティスト協会監修】「データサイエンティスト検定リテラシーレベル」の対策コースです。試験で出題される「データサイエンス力」「データエンジニアリング力」「ビジネス力」各分野の出題傾向をつかみながら効率よく学習できます。Introductionでは、試験の傾向と対策や出題範囲の詳細についても記載しています。ぜひ本コースを活用いただき、試験突破の力を身につけてください。	アイデミー編集部
2450	統計検定3・4級対策	「統計検定3・4級」の対策コースです。出題傾向をつかみながら効率よく学習できます。Introductionでは、試験の傾向と対策や出題範囲の詳細についても記載しています。ぜひ本コースを活用いただき、検定合格の力を身につけてください。	アイデミー編集部
7990	【広告】Aidemy Premium のご紹介	Aidemy Premiumのご紹介動画です。Aidemy Premiumは、AIエンジニアを目指す方のための、パーソナルOJTサービスです。「実践的な演習に挑戦したい」「実データを使ったPoCに取り組みたい」「経験者のアドバイスが欲しい」とお考えの方にピッタリの学習サービスとなっております。ご興味をお持ち顶きましたら、是非こちらからオンライン相談会へお越しください。	アイデミー編集部